

アンケート調査 「研究データのポリシー策定および管理等への 図書館の関与について」の分析と 今後の取り組みに向けて

国立大学図書館協会資料委員会
オープンサイエンス小委員会タスクフォース

令和4(2022)年9月28日

アンケート結果概要

アンケート調査「研究データのポリシー策定および管理等への図書館の関与について」

第9回統合イノベーション戦略推進会議（令和3年4月27日開催）による「公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方」（※1）に基づく、文部科学省研究振興局参事官（情報担当）付学術基盤整備室（令和3年6月2日付け発出文書）『「公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方」について（通知）』（※2）への対応等について、各機関内での研究データの管理・利活用に係るデータポリシーの策定および適切な取り組みの依頼について、対応状況等をお聞かせください。

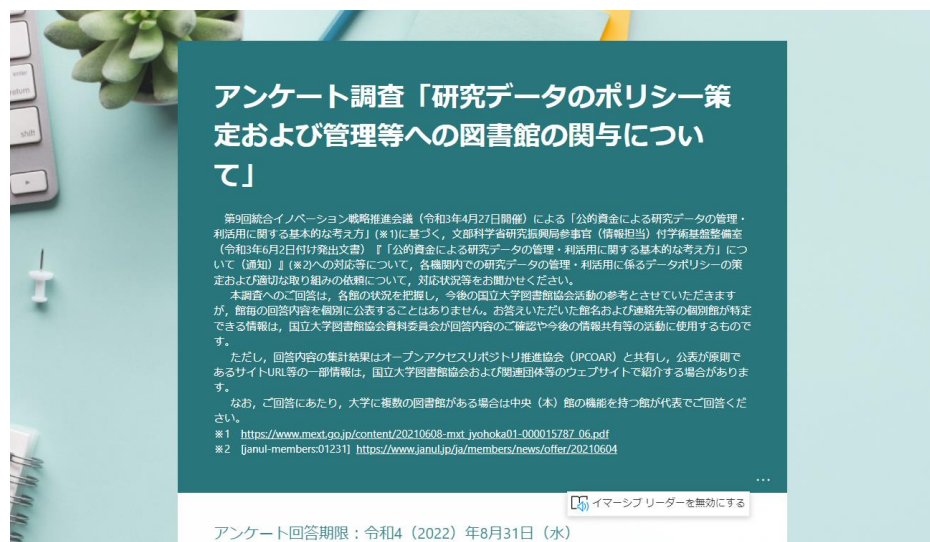
※1 https://www.mext.go.jp/content/20210608-mxt_jyohoka01-000015787_06.pdf

※2 [janul-members:01231] <https://www.janul.jp/ja/members/news/offer/20210604>

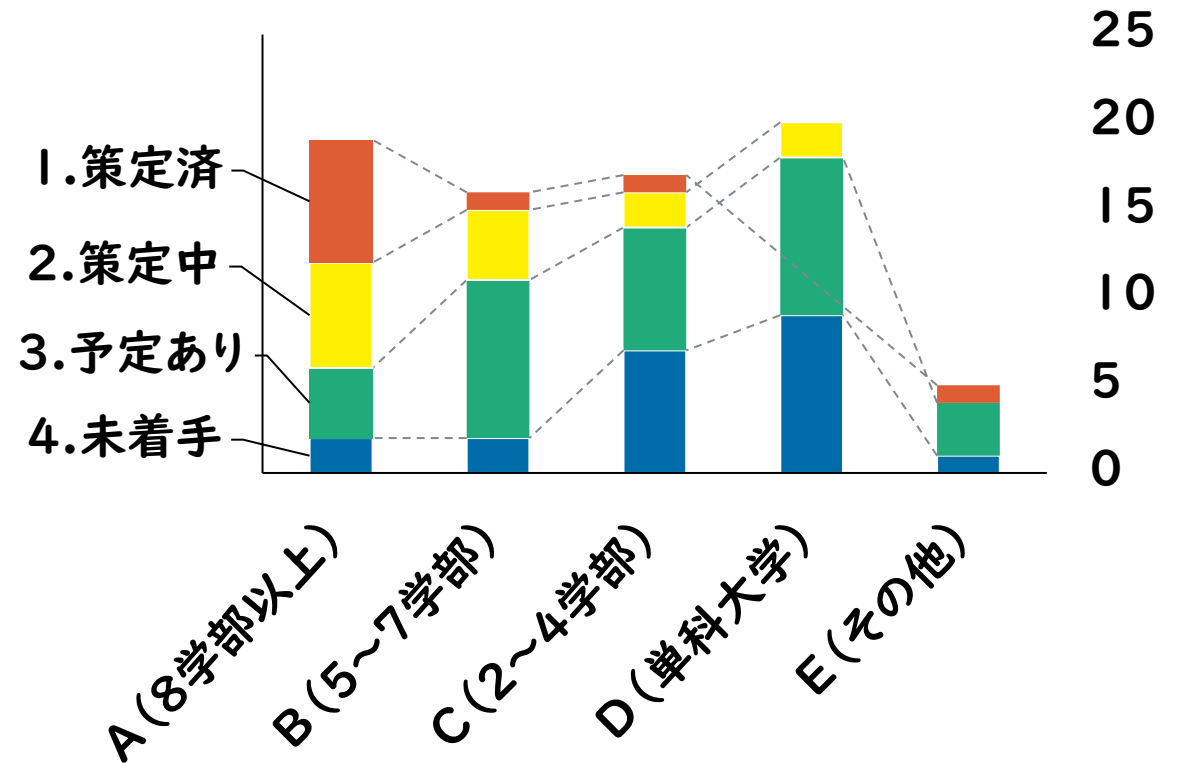
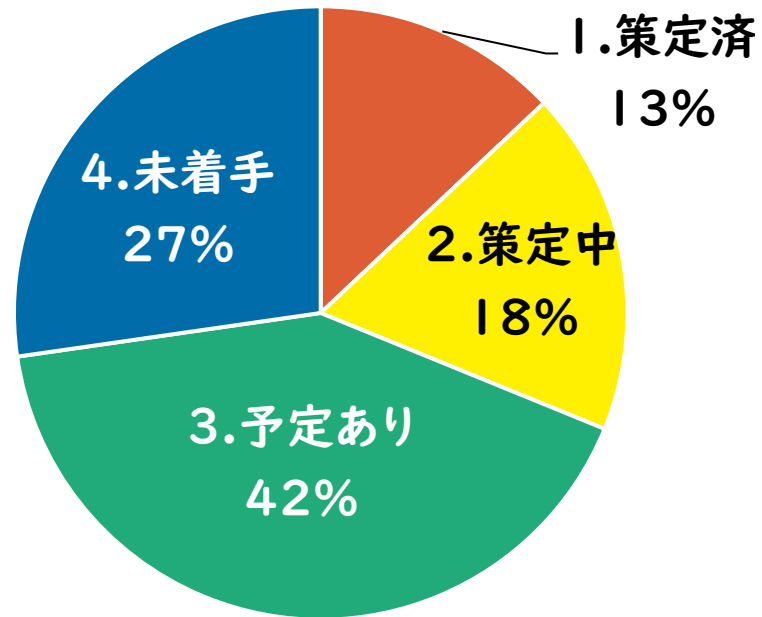
実施期間：令和4（2022）年7月22日から8月31日まで

対 象：国立大学図書館協会会員館（92機関）

回 答：77機関

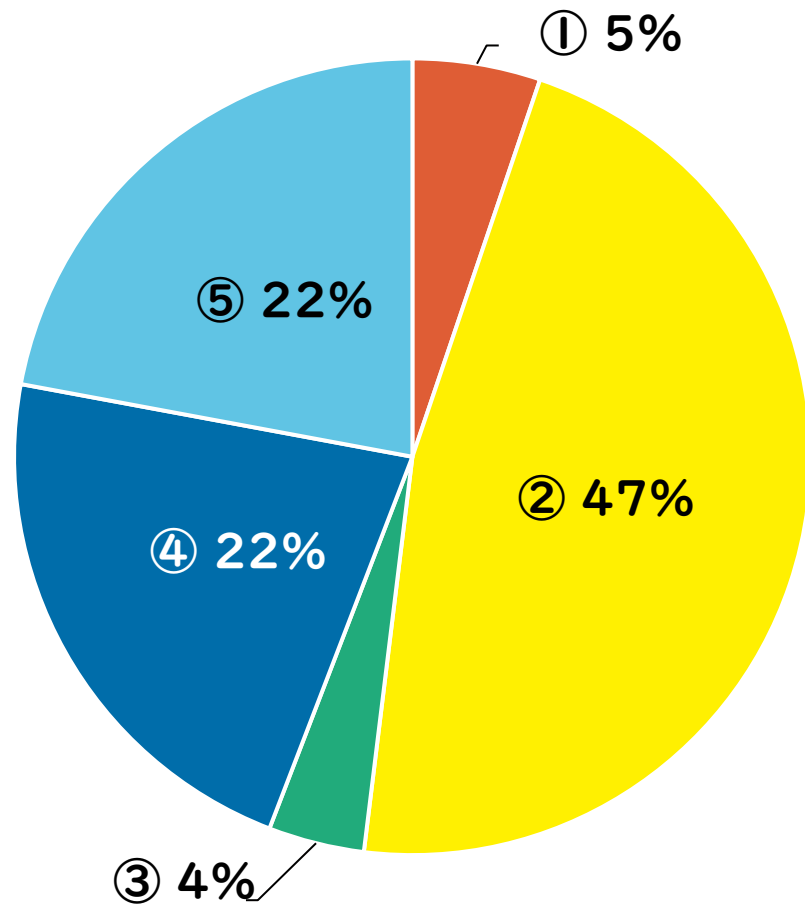


質問1. 貴学においてデータポリシー策定状況は現在、どの段階ですか？



- 全体の13%が策定済、18%が策定中、42%が未着手だが予定あり、27%が未着手である。
- ポリシー策定が済んでいるのは大学規模が8学部以上の大学に多い。

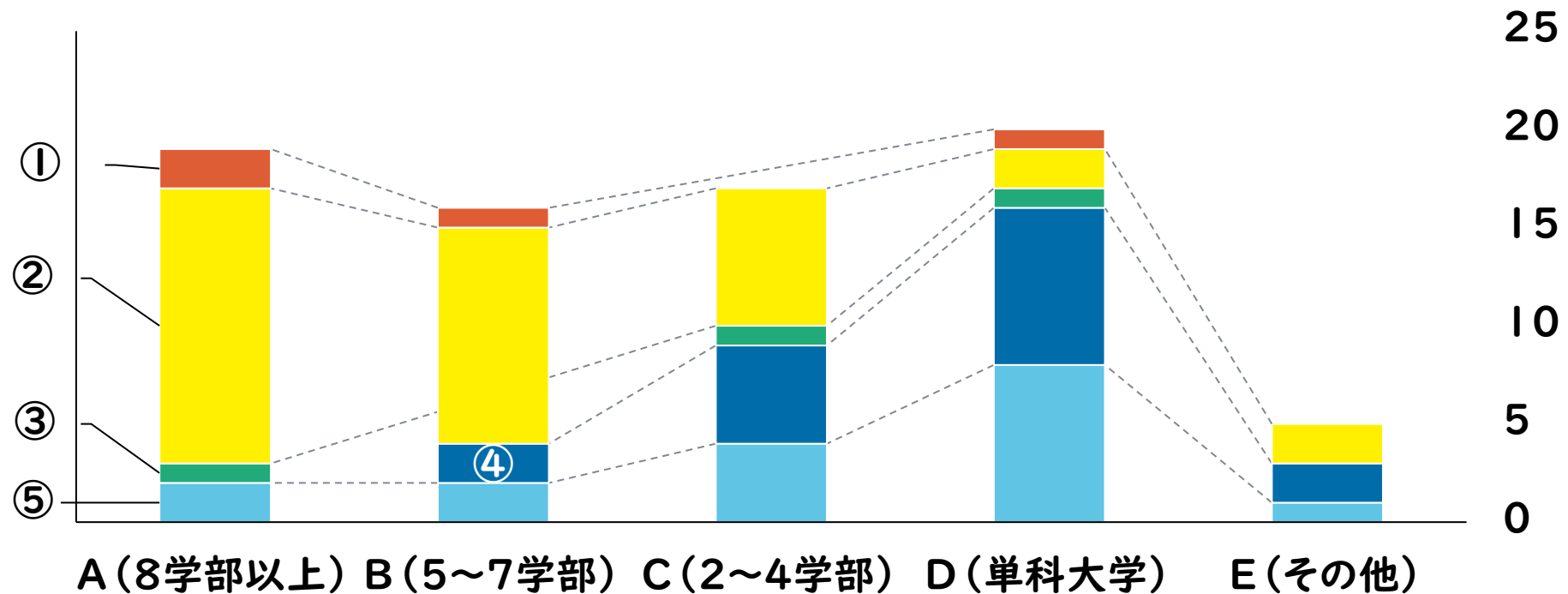
質問3. データポリシー策定に、図書館は関与していますか、または対応予定ですか？



- ① 図書館は、実質的に策定事務の中心的な役割を担っている
- ② 主担当ではないが、図書館も策定に参画している、または対応予定
- ③ 主担当が別にあり、図書館は策定に参画していない
- ④ 主担当が別にあり、図書館の策定への参画有無は未定である
- ⑤ その他

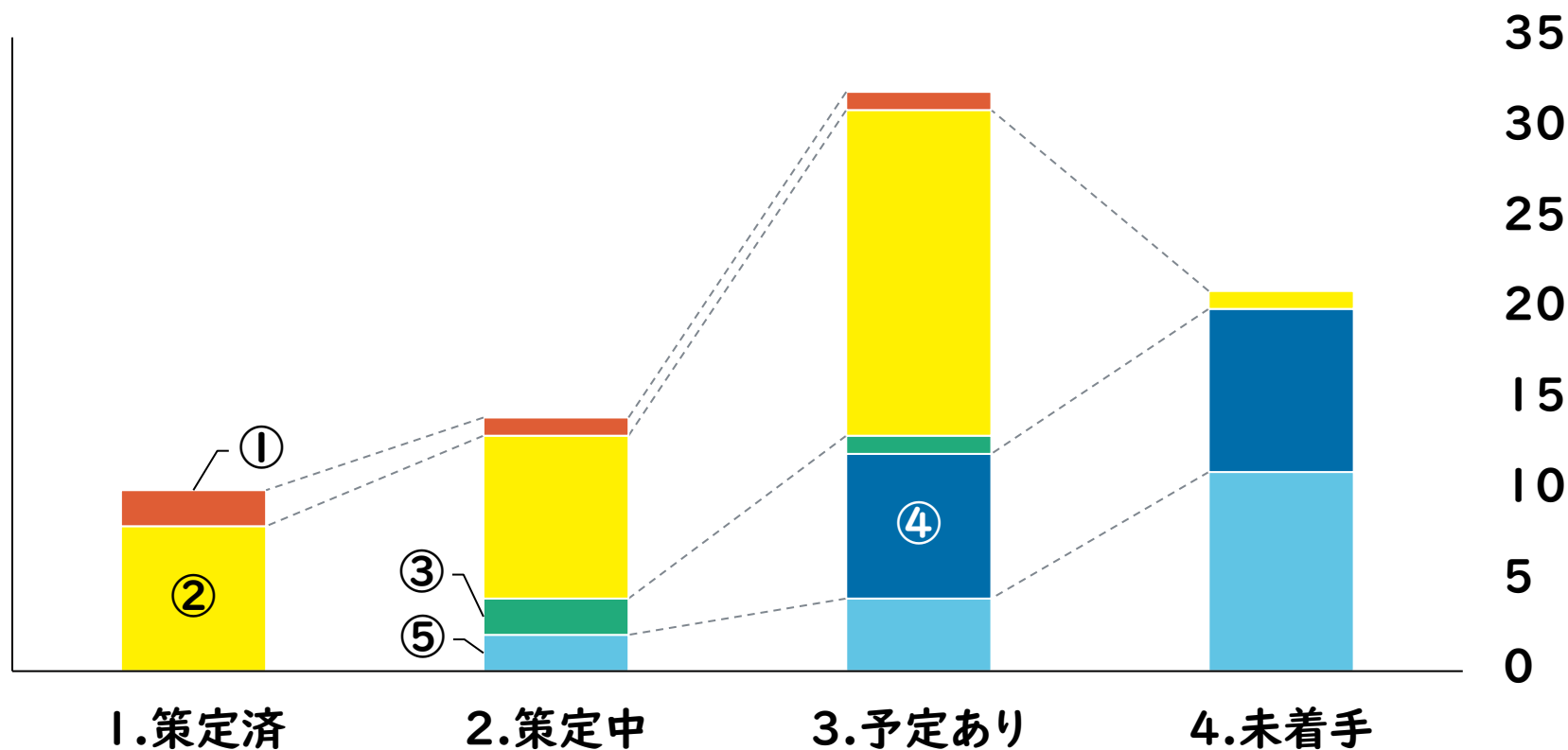
- 策定済の10機関ではいずれも図書館がかかわっている。
- 半数の40機関で図書館が策定に関わっている。

質問3. データポリシー策定に、図書館は関与していますか、または対応予定ですか？



- ① 図書館は、実質的に策定事務の中心的な役割を担っている
- ② 主担当ではないが、図書館も策定に参画している、または対応予定
- ③ 主担当が別にあり、図書館は策定に参画していない
- ④ 主担当が別にあり、図書館の策定への参画有無は未定である
- ⑤ その他

質問1と3のクロス集計



- ①図書館は、実質的に策定事務の中心的な役割を担っている
- ②主担当ではないが、図書館も策定に参画している、または対応予定
- ③主担当が別があり、図書館は策定に参画していない
- ④主担当が別があり、図書館の策定への参画有無は未定である
- ⑤その他

• 図書館が関わっている大学は策定状況が進んでいる傾向が強い。

その他の傾向

- 策定に関わっている部署は、図書館以外では、研究協力（推進）部署、情報基盤部署、URA等がある。また、理事や副学長等が参加するWGを設置した機関では、構成員として情報部門や各分野の教員も見受けられる。
- 未着手の機関では、検討する体制が設置されていない、別部署での検討状況を図書館が把握できていない、部署によつての温度差がある等の事情が見受けられる。

研究データ管理において図書館が果たすべきと考える役割

- 多くの機関が研究データの保存・公開をあげている。また広報や啓発、利用者教育、システム関係の部署との調整等も見受けられた。
- 「図書館の機関リポジトリは使用していない、またはしない予定である。」が2機関、「検討中」が16機関、「未定」が22機関となっており、研究データ公開先として機関リポジトリを想定しているかに関わらず、多くの機関が公開基盤の運用を課題としている。

課題

1) ポリシー策定前の機関

- ポリシー策定の議論を行う場が設置されていないことを課題としており、具体的には、他部署を巻き込んだ動きをボトムアップですることが困難であること、関係部署の動きが不透明であること、学内における研究データ管理の必要性の認識不足等をあげている。また、ポリシー策定中・策定済の機関と同様、ポリシーを策定してからどのように実効性を持たせるかを課題としている。加えて研究データの公開基盤として既存の機関リポジトリが機能するかといったシステム面でも懸念があり、ポリシー策定体制の設置に関する課題はもとより、策定後のポリシーの実効性やシステム面で様々な点を課題としていることがうかがえた。

2) ポリシー策定中の機関

- 課題をあげる機関は多くなかったものの、ポリシー策定済の機関と同様、ポリシーに実効性を持たせることを課題としていることが見受けられ、具体的にはポリシーを踏まえた実施要領や各部局での実施方針の策定等をあげている。

3) ポリシー策定済の機関

- ポリシーに実効性を持たせることを課題としており、具体的にはポリシーを踏まえた実施要領や各部局での実施方針の策定等をあげている。また研究データの受入れ業務の具体策を課題としており、メタデータの付与や、研究データ管理基盤と公開基盤の運用方法、DMPの作成支援等をあげている。

お知らせ(国大図協会会員館向け)

研究データのポリシー策定および管理等への図書館の関与について勉強会・情報交換会を開催します。

2022年

研究データポリシー策定のためのワークショップ

11月28日(月)

内容: 研究データポリシー未策定の機関が、先行大学の事例を学ぶとともに

14:00-16:00

未策定その他機関との意見交換を通して、自機関で研究データポリシーを策定するために必要なことを考えるワークショップ

対象: 自機関の研究データポリシー策定を目指し、意欲を持って他機関との

ワークショップに参加することのできる国大図協会会員館所属機関の職員
(参加型のワークショップのため全員発言を前提)

時期・詳細等は未定ですが、11/28のワークショップの成果を踏まえ、さらなる支援の企画を引き続き検討します。